

Tommykaira

2 DOOR **TUNED SKYLINE**
SPORTS

COUPE M30, M20 SPECIFICATION. TYPE:M30 6-cylinders in-line 3030cc DOHC 24valves, MAX.power(net) 280ps/7200rpm, MAX.torque 30.0kg·m/6100rpm. TYPE: M20 6-cylinders in-line 1998cc DOHC 24valves, turbocharger with intercooler, MAX.power(net) 250ps/6500rpm, MAX.torque 28.0kg·m/5500rpm, by Tommykaira.

M20
NEW
M30

Tommykaira

STORY

初めての挑戦。

1988.春。京都から東京へ向かうトレーラーに一台のチューンドカーがのせられていた。その外観は、一年前にデビューした日産スカイラインそのもので、よく見るとボディサイドにストライプが張られ、シャープなアルミロードホイールが装着されている。スタイリングだけで判断すれば、ごく普通の7th.スカイラインであったが、この車には、何人もの男たちの夢が込められていた。

夢工場、発。

世界に冠たる自動車生産国日本で、なぜ夢のある車が創れないのだろうか。モーターレーシングが正しく理解され、底辺が広がらないのか。チューニングカーは本当に認知されないのか。そんな熱い想いを抱く人間がひとり、またひとりと集まって、夢のある車づくりに取り組む拠点ができた。「TOMITA夢工場」の誕生である。かつて日本のモータースポーツシーンの歴史の中で、いちばん我々の胸を熱くしたマシンは何だったのか。そう考えたとき、頭の中にはGTRしかなかった。スカイラインである。かつてツーリングカーレースで無敵の60連勝記録を樹立したGTR神話をイメージさせる実力のある車にしたい。そんな夢をみんなで語り合った。

トミーカイラ誕生。

素材となるスカイラインを前に、我々は様々な計画を練ってはトライ、つくっては走りながら、新しい時代の神話を創り初めた。コンセプトは富田義一が、開発は解良喜久雄が中心となって進められた。Tommykairaの名前の由来はここにある。初めてのチューンドカーTommykaira M30のデビューは数多くの人々の支持を受け“日本初のチューンドカーメーカーが誕生した”と多くのマスコミは報道した。

新たな挑戦。

1990.6月。京都で発表されたTommykaira M30は、外観までも斬新なエアロパーツに包まれてステージに現われた。8代目のスカイラインR32をベースに、エンジンを根本的に作り直した全く新しい3.1リッター。過去の栄光を彷彿とさせる後輪駆動のスカイラインは、Tommykaira M30の名を冠されてチューニングカーの真価を問うことになった。



Tommykaira

2 DOOR SPORTS **TUNED SKYLINE**

COUPE M30, M20 SPECIFICATION. TYPE:M30 6-cylinders in-line 3030cc DOHC 24valves, MAX.power(net) 280ps/7200rpm, MAX.torque 30.0kg·m/6100rpm. TYPE: M20 6-cylinders in-line 1998cc DOHC 24valves, turbocharger with intercooler, MAX.power(net) 250ps/6500rpm, MAX.torque 28.0kg·m/5500rpm, by Tommykaira.

Tommykaira

M30

限定200台。特別なチューンドカーであるため、誰にでも簡単に乗りこなすことはできないだろう。もちろん十分に安全なチューンドカーなのだが、M30の実力の片鱗を垣間見るだけの投資としては、少々高過ぎると言いたいのだ。開発した我々にすれば、この

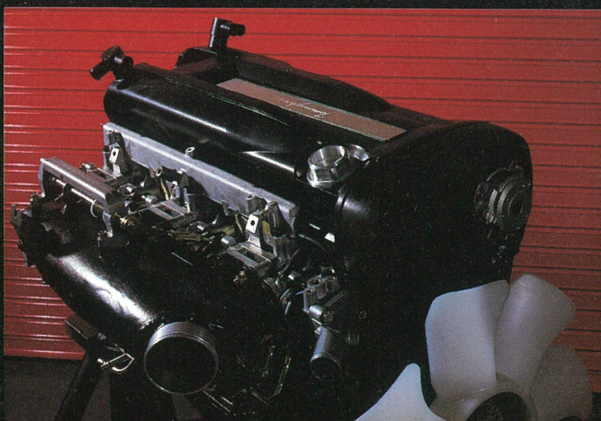


感能的なサウンドだけでもエンスーファストを心底納得させる魅力はあると自負してはいるものの、やはりそのパワーをコントロール

N.A.280馬力ノーマル・アスピレーション・エンジンである。いわゆる過給器はもたない。大パワーを得るためには少し遠回りかも知れないが、自然なレスポンスと息の長い加速感覚を大切にするためにはどうしてもN.A.である必要があった。レーシングエンジンのように神経質ではないが、繊細さという意味では共通の何かを感じていただけるはずだ。各ギアのつながりにも重要な意味がある。このままサーキットを走るわけではないのだから、コースに合わせてミッションを変更するわけ



できるテクニックをお持ちの方に乘っていただきたいと願ってる。6気筒DOHCの自然吸気(NA)エンジンは高回転型だが扱いにくいほどではなく、むしろ回転を上げてトルクを絞りだす際の快音が楽しめる。いわばパワーと共にサウンドまでもチューンしたといついい。そんな手間暇と技術の必要な作業だけに、販売台数も限らせていただいた。一台一台しっかりとチューニングを施して、完璧な状態で安心して乗っていただくM30をお届けするには、我々の規模で200台が責任の取れる限度。そうお考えいただきたい。



にはいかない。で、守備範囲の広い特性のエンジンを目指した。数字そのものは驚くに値しないかも知れないが、M30は車重が軽いため

(特に四駆車と比較して)驚異的なパワーウェイトレシオを実現した。パワー280ps・トルク30.0kg-mというスペックからは想像できない別世界にドライバーをお誘いするはずである。また、これからの高性能車の重要なファクターになるであろう省燃費にも、このN.A.エンジンは大いに貢献している。

レカロ製のトミーカイラオリジナル・スポーツシートを標準装備。運転の基本は腰にある。ここをしっかりとホールドしながら、マシンの微妙な挙動を素早く察知して対処できなければ、ドライビング・プレジャーは味わえない。窮屈なレーシングシートではない。ヨーロッパの道を知りつくし、椅子の文化の国で生まれた真のスポーツシート「レカロSR」タイプをベースに、トミーカイラが手を加えたオリジナルだ。日本人の体形に合わせ、M30の cockpit にフィットさせたデザイン。これはコンプリートカー装着でしか手に入らない貴重なパーツだ。走ることが喜びのドライバーにとって、この選択は大きなアドバンテージとなる。

F.R.後輪駆動。これがドライビング・プレジャーを満喫するのに最適な駆動方式であろう。世はまさに四駆の全盛時代だ。が、我々はあえて現代の高性能車のフルブルーフ化に異論を唱えたい。腕が良くないと性能を発揮できない車がある。でもいい。

Tommykaira 2 DOOR SPORTS TUNED SKYLINE COUPE M30, M20 SPECIFICATION. TYPE:M30 6-cylinders in-line 3030cc DOHC 24 valves, MAX.power(net) 280ps 7200rpm, MAX.torque 30.0kg-m 6100rpm. TYPE: M20 6-cylinders in-line 1998cc DOHC 24 valves, turbocharger with intercooler, MAX.power(net) 250ps 6500rpm, MAX.torque 28.0kg-m 5500rpm. by Tommykaira. M30

プリスターフェンダーの迫力。これまでのエアロパーツは、ボディにスマートに密着させることにのみ執着し、本当の意味での空力性能に曖昧な点が少なかったようだ。M30の

ホイールアーチをご覧ください。直線的にカットされた上部が高速域での風の巻き込みを押さえて、直進安定性を向上。280馬力を路面に伝える極太タイヤ



トミーカイラのなかでも特にM30だけは、乗りこなす喜びと誇りを、ごく限られた方にだけお届けしようと考えた。これが真の限定車であると自負している。

3.1リッターエンジンの開発。主要なパーツのほとんどを、日産自動車の純正部品でまかなっているため、信頼性には自信がある。これは前回のM30と同様の手法である。我々のような小さな企業にとって、エンジンブロックなどの casting パーツをオリジナルで開発製造することは困難でありメリットも少ない。理想的方法として、既存の主要純正パーツを組み合わせながら、チューニング(調律)で全く新しいエンジンを造る方法を選ぶのが正しいやり方であった。もちろん、排気系や細かな構成部品はオリジナルパーツで対応。結果としてどこにもない本格的で純粋なチューニングエンジンが生まれた。

をすっきりと収める。リアのウイングは「テールフィン」と呼ばれる角度調整式。で、レーシングカーのウイングやサスペンションの調整に利用されるピロボールを介してトランク上に装着される。フロントもアルミのステーによって装着する。今回のエアロパーツのコンセプトのひとつに、冷却効果がある。ダウンフォースのみを追求するのではなく、空気をエンジンルームやブレーキ、タイヤに有効に導いている。

鍛造3ピースアルミロードホイールは、定評のあるトミーカイラシリーズのNEWサイズ。シャープなデザインはすでに多くのファンを持つが、タイヤとのマッチングも含めて再デザインされた。鍛造技術によって強度もアップ。バネ下重量の軽減によって運動性能を飛躍的に向上させた、M30に最適なホイールの誕生である。

Tommykaira

2 DOOR **TUNED SKYLINE**
SPORTS

COUPE M30, M20 SPECIFICATION. TYPE:M30 6-cylinders in-line 3030cc DOHC 24valves, MAX.power(net) 280ps/7200rpm, MAX.torque 30.0kg·m/6100rpm. TYPE: M20 6-cylinders in-line 1998cc DOHC 24valves, turbocharger with intercooler, MAX.power(net) 250ps/6500rpm, MAX.torque 28.0kg·m/5500rpm, by Tommykaira.



M20

Tommykaira

2 DOOR SPORTS **TUNED SKYLINE**
COUPE M30, M20 SPECIFICATION. TYPE: M30 6-cylinders in-line 3030cc DOHC 24valves, MAX.power (net) 280ps/7200rpm, MAX.torque 30.0kg-m/6100rpm. TYPE: M20 6-cylinders in-line 1998cc DOHC 24valves, turbocharger with intercooler, MAX.power (net) 250ps/6500rpm, MAX.torque 28.0kg-m/5500rpm, by Tommykaira.

M20



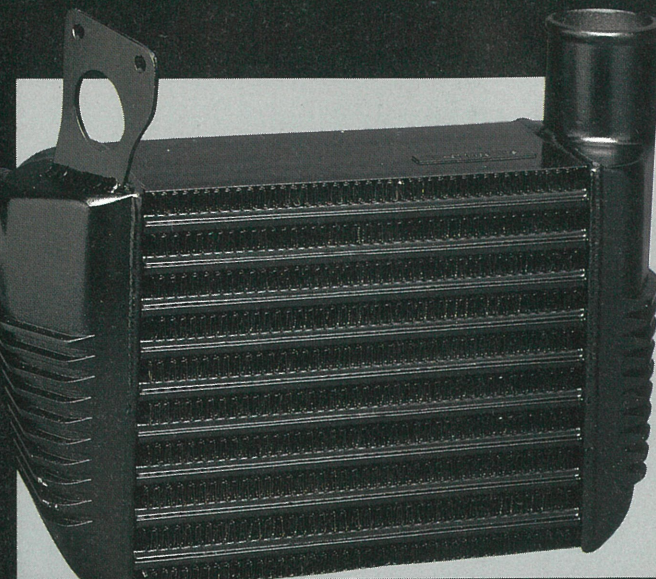
最小限のチューニングで最大の効果を上げる。これがM20に与えられたテーマだ。これまでターボ車のパワーアップにはおおよそ次のような手法が取られてきた。1. 大口径ターボへの交換。2. 過吸圧のアップ。3. 排気系の効率アップ。こうしたオーソドックスなターボチューニングに飽き足らない我々は、新しい視点でM20に挑戦した。パーツの交換をできる限り最小にとどめて、信頼性を十分に確保したうえでパワーアップを計る。その成果が、250馬力のスペックを誕生させた。トミーカイラのマジックと呼ばれる所以はこうしたユニークな発想にある。もちろん我々のマジックが、確かな技術と経験に裏付けされたものであることはいうまでもない。**後付け、調整式**を選択したエアロパーツ。特にフロントのそれは一見して装着状態でボディとの隙間が見える。アルミステーを介して

取付けるレーシングカーの手法とデザインをモチーフとした。リアはもっと積極的に空力を考えて、テールフィンの角度を自由に調整できるように設計している。フォーミュラマシンのリアウィングのようにピロボール式を採用。左右のステップとリアスカートにも、レーシングカーのイメージを移植した。5ナンバー、F.R.のスカイラインを魅力的にチューニングしたトミーカイラのマジックは、純粋に走りを楽しみたい方の最適な一台であることをお約束しよう。

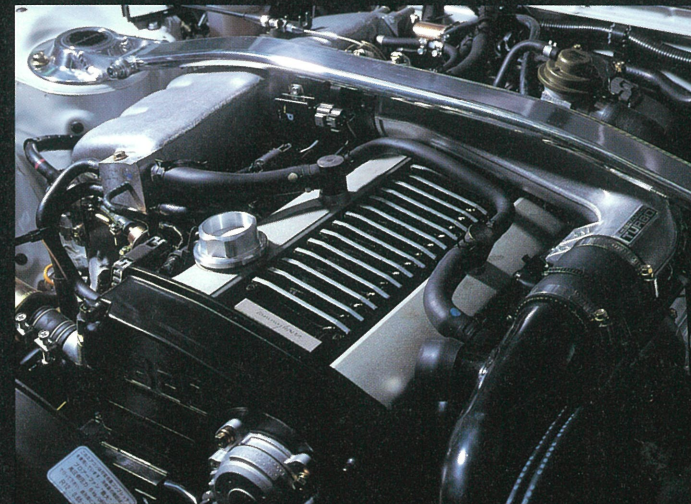


インタークーラーの秘密。今さら珍しいことでもないが、ターボ車には過給された空気を冷却するためのインタークーラーが装着されているものが多い。が、それを積極的にチューニングに取り入れて総合的なポテンシャルアップを計った例は少ない。トミーカイラM20は、このインタークーラーをオリジナルで設計開発して最高出力向上の核とした。なぜこうまでしてターボの交換や過給圧のアップを避けたのか。その答えは「燃費」にあった。

省燃費を実現したターボチューン。誤解を恐れずに申し上げるなら、ターボ車でパワーアップするには燃費の悪化というリスクが避けられなかったのだ、これまでは。最近のジャパンカーは、凄い！でも高速燃費が良くない！という海外からの手厳しい注文も、まん



ざら根拠のないものではなさそうだ。ならば我々でそのテーマに挑戦してみよう！そんな気概から誕生したのが、M20だ。小企業ゆえ大メーカーのような立派な研究施設もないし、時間も予算も比べるべくもない。そんな環境で産声を上げた車ゆえ、満足なデータを発表申しあげるにはいたっていないが、決して少なくない走行テストと一般道路試乗によって、驚異的な燃費を記録している



ことだけは間違いない。(もちろん250馬力というスペックと比べてだが)最初に最小限のチューニングと書いたが、こたわりは随所に表現したつもりだ。例えばエンジン。オイルキャップやヘッドカバーのデザインは、チューニングカーに欠かせないボンネット下の美学、と申し上げておこうか。ストラットタワーバーの質感と共に、チューニングカーを所有する愉悦はこんなところにある。

Tommykaira M20 TUNED SKYLINE

<主要装備>

トミーカイラオリジナル

- エンジンコントロールユニット
- マルチカップスーパーインタークーラー
- ストラットタワーバー
- スポーティサスペンション（フロント/リヤ）
ニスモ製ショックアブソーバー
- 強化リヤスタビライザー ●強化スプリング（フロント/リヤ）
- オイルフィルターキャップ ●センターヘッドカバー
- アルミロードホイール（1 Piece 7.0J×16）
- エアロキット
[フロントスポイラー、サイドステップ、リヤスカート、テールフィン]
- ボディストライプ ●エンブレム
- ステアリング（パーソナル製・本革巻）
- シフトノブ（アルミ切削）
- フットレスト
- ドライビングマット（4点セット）

日産純正

- 4輪マルチリンクサスペンション
- リヤビスカスL.S.D・SUPAR HICAS
- 4輪ベンチレーテッドディスクブレーキ・
アルミキャリパー対向ピストンブレーキ
- 205/55R 16タイヤ
- グレーorブロンズガラス ●プロジェクターヘッドランプ
- 無段間けつワイパー・間けつ式リヤワイパー
- 電子制御パワーステアリング ●チルト&テレスコピックステアリング
- 本革巻パーキングブレーキレバー
- ワンタッチパワーウィンドウ ●集中ドアロック
- 電動格納式カラードドアミラー
- ワーニング[充電警告灯、半ドア警告灯、油圧警告灯、排気温度警告灯、
燃料残量警告灯、ブレーキ液面警告灯、HICAS警告灯、
ライト消し忘れ警告ブザー、キー忘れ警告ブザー]
- リヤELR付3点式シートベルト・シートベルトアーム
- 4スピーカー ●ツインガラスアンテナ ●オーディオサテライトスイッチ

オプション品

- メカニカルL.S.D ●オイルクーラー（アールズ製） ●225/50R 16タイヤ（ダンロップ ZERA Gda）
- トミーカイラオリジナルアルミロードホイール（3 Piece 8.0J×16・1 Piece 8.0J×16）
- トミーカイラオリジナルメーターアッセンブリー[油圧計、ブースト計、速度計、回転計、燃料計、水温計]
- トミーカイラオリジナル3連メーター[油温計、外気温度計、排気温度計]
- アクティブアメニティシステム[電子制御アクティブフルオートエアコン・電子制御アクティブサウンドシステム]
- トミーカイラオリジナルシート（レカロ製SRタイプ）

★その他のオプション、およびボディカラーは、日産純正に準じています。

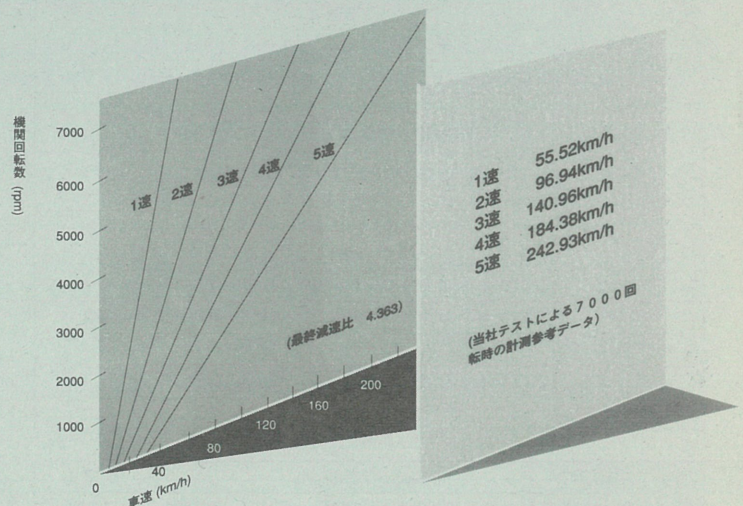
価格／¥3,580,000

（京都店頭渡し車両本体価格・登録諸費用 消費税別）

★価格、仕様、データ等は予告なく変更する場合があります。

エンジン	1998cc 水冷直列 6 気筒 DOHC ターボ+インタークーラー ボアストローク (78.0×69.7mm) フューエルインジェクション ECCS 250ps/6500rpm 28.0kgm/5500rpm		
トランスミッション	5 速マニュアル		
ボディ	モノコック 2 ドア クーペ (5 シート)		
サスペンション	フロント	オリジナルショックアブソーバー+強化スプリング	
	リヤ	オリジナルショックアブソーバー+強化スプリング +強化リアスタビライザー+スーパーハイキャス	
ブレーキ	フロント	対向 4 ピストン アルミニウムキャリパー +ベンチレーテッドディスク	
	リヤ	対向 2 ピストンアルミニウムキャリパー + ベンチレーテッドディスク	
タイヤ	フロント・リヤ	205/55 R16	
ホイール	フロント・リヤ	7jj×16 o/s+35mm P.C.D 114.3	
ステアリング	ラック&ピニオン		
トラック	フロント・リヤ	1465mm	
ホイールベース	2615mm		

機関	最高出力	250ps/6500rpm		変速比
	最大トルク	28.0kgm/5500rpm	1速	3.321
タイヤ	車両重量	1260kg	2速	1.902
	サイズ	205/55R 16	3速	1.308
	有効半径	0.305m	4速	1.000
	減速比	4.363	5速	0.759
			後退	3.382



TOMITA

製造販売元・株式会社トミタオート／〒603 京都市北区衣笠御所ノ内町35番地 ☎075(461)6290代
用品発売元・株式会社イージーライダーズ／〒150 東京都渋谷区南平台町4-8-708 ☎03(464)3095代

Tommy kaira M30 TUNED SKYLINE

<主要装備>

トミーカイラオリジナル

- エキゾーストマニホールド
[ステンレス製等長マニホールド・
デュアルキャタライザーエキゾーストシステム]
- エンジンコントロールユニット ●メカニカルL.S.D
- 強化サスペンション (フロント/リヤ)
ビルシュタイン製ショックアブソーバー [フロントはオリジナルジオメトリー]
- 強化リヤスタビライザー ●強化スプリング (フロント/リヤ)
- 4輪ベンチレーテッドディスクブレーキ (ピンホール付ビッグディスク)
- アルミキャリパー対向ピストンブレーキ ●オイルクーラー (アールズ製)
- オイルフィルターキャップ ●アルミロードホイール (3Piece 8.0J×16)
- 225/50 R 16タイヤ (ダンロップ ZERA Gda)
- エアロキット
[フロントスポイラー、プリスターフェンダー (フロント/リヤ)、
リヤスカート、テールフィン、ボンネットバルジ]
- ボディストライプ ●エンブレム
- ステアリング (パーソナル製、本革巻) ●シフトノブ (アルミ切削)
- メーターアッセンブリー
[油圧計、バキューム計、速度計、回転計、燃料計、水温計]
- 三連メーター [油温計、外気温度計、電圧計]
- フットレスト ●ドライビングマット (4点セット)
- シート (レカロ製SRタイプ)

日産純正

- 4輪マルチリンクサスペンション
- SUPER HICAS
- グレーorブロンズガラス
- プロジェクターヘッドランプ
- 無段間けつワイパー・間けつ式リヤワイパー
- 電子制御パワーステアリング
- チルト&テレスコピックステアリング
- 本革巻パーキングブレーキレバー
- ワンタッチパワーウィンドウ
- 電動格納式カラードドアミラー
- 集中ドアロック
- ワーニング [充電警告灯、半ドア警告灯、油圧警告灯、
排気温度警告灯、燃料残量警告灯、
ブレーキ液面警告灯、HICAS警告灯、
ライト消し忘れ警告ブザー、キー忘れ警告ブザー]
- リヤELR付3点式シートベルト・シートベルトアーム
- 4スピーカー
- ツインガラスアンテナ
- オーディオサテライトスイッチ

オプション品

- アクティブアメニティシステム
(電子制御アクティブフルオートエアコン、電子制御アクティブサウンドシステム)

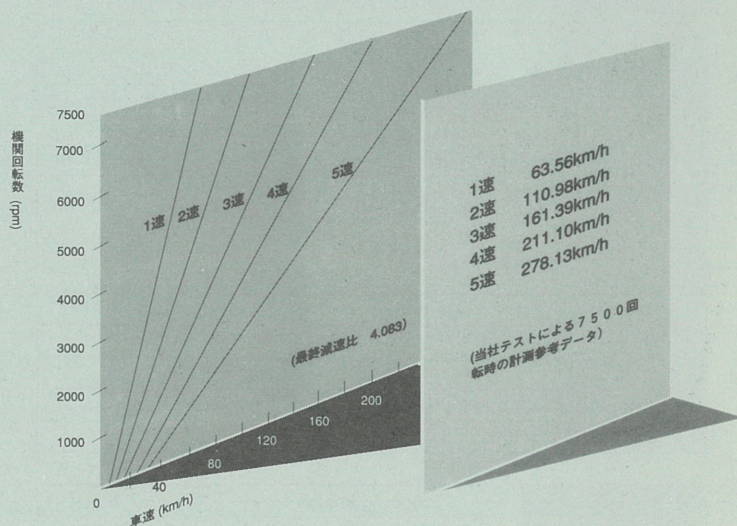
★その他のオプション、およびボディカラーは、日産純正に準じています。

価格/¥6,500,000

(京都店頭渡し車両本体価格・登録諸費用 消費税別)
★価格、仕様、データ等は予告なく変更する場合があります。

エンジン	3030cc 水冷直列 6 気筒 DOHC ボアストローク (87.0×85.0mm) フューエルインジェクション ECCS 280ps/7200rpm 30.0kgm/6100rpm		
トランスミッション	5速マニュアル		
ボディ	モノコック 2 ドアクーペ (5 シート)		
サスペンション	フロント	オリジナルショックアブソーバー+強化スプリング	
	リヤ	オリジナルショックアブソーバー+強化スプリング +強化リアスタビライザー+スーパーハイキャス	
ブレーキ	フロント	対向 4 ピストンアルミニウムキャリパー +ベンチレーテッドビッグディスク	
	リヤ	対向 2 ピストンアルミニウムキャリパー +ベンチレーテッドビッグディスク	
タイヤ	フロント・リヤ	225/50 R16 ZERA Gda	
ホイール	フロント・リヤ	8jj×16 o/s+25mm P.C.D 114.3	
ステアリング	ラック&ピニオン		
トラック	フロント・リヤ	1490mm	
ホイールベース	2615mm		

機 関	最高出力	280ps/7200rpm		変速比
	最大トルク	30.0kgm/6100rpm	1速	3.321
車 両 重 量		1300kg	2速	1.902
	サイズ	225/50R 16	3速	1.308
タ イ ヤ	有効半径	0.305m	4速	1.000
	減速比	4.083	5速	0.759
			後退	3.369



TOMITA

製造販売元・株式会社トミタオート/〒603 京都市北区衣笠御所ノ内町35番地 ☎075(461)6290代
用品発売元・株式会社イージーライダース/〒150 東京都渋谷区南平台町4-8-708 ☎03(464)3095代

TOMITA 夢工場

製造販売元・株式会社トミタオート / 〒603 京都市北区衣笠御所ノ内町35番地 ☎075(461)6290代
用品発売元・株式会社イージーライダース / 〒150 東京都渋谷区南平台町4-8-708 ☎03(464)3095代

●本カタログに掲載のスペック・データ・仕様などは、予告なく変更する場合がございます。

頒布価格 ¥1,000